

第10回 中部地方整備局コンプライアンス・アドバイザー委員会 議事概要

※新型コロナウイルスによる感染症拡大防止措置により持ち回り開催

1. 中部地方整備局コンプライアンス・アドバイザー委員会

委員長	熊田 均	弁護士
委員	上田 圭祐	公認会計士
委員	柴田 義朗	弁護士
委員	井上 純	中日新聞論説委員
委員	横溝 大	名古屋大学大学院教授

2. 議題

- (1) 令和元年度 中部地方整備局コンプライアンス報告書（案）
- (2) 令和2年度 中部地方整備局コンプライアンス推進計画（案）

3. 議事概要

- ・研修等の実施については、マンネリ化防止の工夫として、実際に起こった事例を用いて、職員自ら考えてもらう講義形式も一案である。さらにグループ討議などの参加型にすることでより効果が期待できる。
- ・コンプライアンスの取組は、やるべきことが多少なりとも同じことになることは当然のことであり、マンネリ化となることはある程度はやむを得ない。工夫を凝らしつつ基本的な取組は維持する必要がある。
- ・再発防止策に取組み3年が経過した。今後は、職員の負担感の軽減などについても考えていくことが、長期的な課題となる。
- ・全体として、丁寧に取り組んでいると評価できる。